

平成13年10月22日

各 位

会社名 東京製綱株式会社
代表者名 取締役社長 上西 準
(コード番号 5981 東証第1部)
問合せ先 総務部長 誉田安信
(TEL 03-3211-2851)

特別損失の発生、業績予想の修正並びに配当予想の修正について

記

〔 〕 特別損失の発生について

当社は、東京製綱グループの経営改善に取り組み、生産集約や希望退職の募集を行なってまいりましたが、バブル崩壊後の長期に渡る景気低迷により子会社の業績悪化が続き、今後も急速な純資産の回復は難しいと判断した子会社の株式について、金融商品会計基準に沿った子会社株式評価減を実施する見込みとなりました。これは、来期以降の子会社株式の評価に減損懸念を繰り越さないための措置であります。

なお、連結では、従来から子会社の純資産額で取り込んでいるため、本株式の評価損は消去され、影響を与えません。

また、株式相場下落による投資有価証券評価損や投資有価証券売却損、特別退職金や固定資産除却等の生産態勢再構築費用が発生します。

加えて、下期からは徹底した事業構造の改革に取り組むため「新生21計画（Vプラン）」を実行いたしますが、これに伴う特別退職金、固定資産除却等の構造改善費用が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

「新生21計画（Vプラン）」については、本日併せて発表いたしております。

(単位:百万円)

	単 独		連 結	
	中 間 期	通 期	中 間 期	通 期
子会社株式評価損	8,300	8,300		
投資有価証券評価損	1,640	1,640	1,660	1,660
投資有価証券売却損	280	280	280	280
生産態勢再構築費用		600	1,940	2,840
構造改善費用		1,500		1,500
従業員早期退職金	190	190	210	210

なお、生産態勢再構築費用のうち連結の1,040百万円、従業員早期退職金のうち単独の170百万円および連結の180百万円については、7月19日に開示済です。

〔 〕業績予想の修正について

上記に伴い、平成13年5月24日に公表した単独業績予想並びに平成13年7月19日に公表した連結業績予想を下表のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

1. 14年3月期中間業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成13年9月30日）

（単位；百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	29,000	100	50
今回修正予想（B）	26,000	400	8,400
増減額（B - A）	3,000	500	8,450
増減率（%）	10.3		
（ご参考） 前期実績（平成13年3月中間期）	28,492	76	105

2. 14年3月期連結中間業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成13年9月30日）

（単位；百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	42,000	300	1,000
今回修正予想（B）	37,000	1,500	3,000
増減額（B - A）	5,000	1,800	2,000
増減率（%）	11.9		
（ご参考） 前期実績（平成13年3月中間期）	40,755	199	230

3. 14年3月期通期業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位；百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	67,000	1,100	500
今回修正予想（B）	58,000	300	10,500
増減額（B - A）	9,000	800	11,000
増減率（%）	13.4	72.7	
（ご参考） 前期実績（平成13年3月期）	60,352	764	21

4. 14年3月期連結通期業績予想数値の修正（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位；百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	90,000	2,000	100
今回修正予想（B）	78,000	600	4,500
増減額（B - A）	12,000	2,600	4,600
増減率（%）	13.3		
（ご参考） 前期実績（平成13年3月期）	89,247	1,235	362

5. 修正の理由

長期化する景気低迷により、鋼索鋼線部門、開発製品部門ともに、需要の減少と販売価格の低下が一層厳しいものとなり、売上高、経常利益とも前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。また、前記のとおり多額の特別損失が発生する見込みのため、当期純利益も大幅に悪化する見込みとなりました。

連結につきましても、連結決算財務諸表提出会社（当社）の業績予想の修正に加え、連結子会社を取り巻く環境も厳しく修正を行なうものです。

〔 〕 配当予想の修正について

1. 修正の内容

	中間期	期 末	年 間
前回発表予想（平成 13 年 5 月 24 日）	0 円	3 円	3 円
今回修正予想	0 円	0 円	0 円
（ご参考）前期の 1 株当たり配当金実績	0 円	3 円	3 円

2. 修正の理由

前記の業績予想の修正に伴い、誠に遺憾ながら当期末の 1 株当たり配当予想を 3 円から 0 円（無配）に修正を行なうものです。

以 上